

鹿児島大学病院

研修医 大塚 彰行 2016年4月

鹿児島大学病院初期研修医2年目の大塚彰行と申します。

2016年4月の一ヶ月間、地域医療として、出水総合医療センターで研修をさせて頂きました。

自分は鹿児島市出身ですが、出水市を訪れるのは今回が初めてでした。印象としては鶴と新幹線が通りかかるとい印象くらいでした。出水にきて食べ物もおいしく、景色もきれいなところがたくさんありました。4月でしたので桜も満開でとても景色が綺麗だったのが印象深かったです。

1か月の研修では出水総合医療センター、野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センターで研修させて頂きました。野田診療所、高尾野診療所では外来と訪問診療を経験させて頂きました。患者さんの中には90歳代の方が何人もいらっしゃって、元気に歩いてこられて先生たちと楽しそうに話をされて今から散歩して帰ると言っていて帰られて行かれる方などおいてそのような方の健康を支えているんだなと感じました。また、先生方の診療で色々勉強させて頂いたのはもちろんですが、患者さんの家族構成などの背景を理解されていたのが印象的でした。介護が必要になった際の家族のサポートが得られるかなどを把握されていたのが、在宅診療を行っていく際に必要なのだなと感じました。

出水保健センターでは3歳児健診を見学させて頂きました。カンファでは健診に来た子供で気になったポイントをスタッフで共有し子育ての支援を行っているのを知りました。

出水総合医療センターでは総合内科を回らせて頂きました。外来の診察をさせて頂き、様々な症状で来られる患者さんの診察から必要な検査の選び方、検査に対する評価の考え方、患者さんへの説明のポイントなど様々なことを学ばせて頂きました。また、多職種連携で様々な部署を見学させて頂きました。自分が普段見えていないところで多くの方が患者さんが入院してから退院するまでにサポートされていることを改めて知ることができました。

出水総合医療センターで救急外来、野田診療所での一次救急外来も経験させて頂き、限られた環境で判断をすることなど普段とは異なった環境を経験することができました。

出水の研修を通じて、自分がこれまで研修を行ってきた環境とは違った中で医療を行えたこと、多職種の方の仕事を体験させて頂いただけことは大きな糧になりました。これから地方医療に携わる際にこの一カ月で得られた経験を活かしていこうと思います。一か月と短い期間ではありましたが、多くのことを経験させて頂き本当にありがとうございました。